

オープンプラットフォーム会議Vol.4 一言カード

No.	内容
1	観光産業を担う人材づくりが必要と考えているが。
2	赤ちゃんを連れてくることにより、声がうるさい、マナーがなっていないと言われる。赤ちゃんの図書館利用は制限するべきか。
3	不登校気味の子どもがいるが、図書館にはいく。不登校の子どもが「あそこなら行ける」という場や機能があるとうれしい。
4	美術館の計画はどうなった。障害のある人が利用しやすい、またアート活動の場を創ってほしい。
5	ソフト開発をする組織作りと職員の能力向上が不可欠。様々な事業を作り出す組織づくりのポイントと職員の能力向上のポイントを教えてほしい。
6	図書館が自治の担い手となり、要求⇒対話⇒協働と発展するためには図書館職員の役割が重要と考えるが瀬戸内市民図書館はどうされているか。
7	・図書館長、スタッフ（司書）の役割について ・別府市立図書館は専従職員ゼロ、資料費も全国最下位の状況を変えるために、どうすべきか話し合ってください。
8	本を市民に提供するところである図書館の計画では、館長や本の計画をどのようにしているのか聞かせてください。
9	図書館長、職員の体制がとても大切ですが、まだ決まっておらず、どんな図書館になるか不安。図書館そのものの姿を具体的に示せるようにしていただきたい。
10	新しい図書館の準備に館長や司書は何年前から関わったか。 瀬戸内市民図書館には司書が何人いるか。
11	儲かる図書館はどうか
12	図書館が本の貸出だけでなく人と人をつなぐ場としてどんな活用法があるか、それをどのように計画しているか、具体的に提示してほしい。
13	・図書館は倉庫であってはならないと思うので図書館の多様性は賛成。 ・多目的に活用できる図書館として美術館もその中に取り込む形で運営するのか ・4回を経て方向性が見えてきたので、今後市役所と市民の協働をどこでどのように進めていくのか興味がある。
14	図書館本体のみでなく、周辺の準備も大切と思う。別府公園や周りも考えてほしい。
15	図書館をつくるのであれば、最初から最後まですべて透明性、公平性を求めます。
16	利用者ファーストの公共施設たる新図書館建設に向けて「PFI方式」を有効活用するいちばんの要諦は何か？
17	ICTの発達で、図書館からモノを知ることの必要性がなくなっている。図書（書物）のない図書館ができないか。
18	・嶋田さんが関わった図書館は、本をどこから仕入れていたか ・自分事として、東京の業者から仕入れることをどう思うか。
19	図書館はまちや人にとって「あったら良いもの」なのか「必要なもの」なのか、その答えは町全体で共有認識していくことが根底にあって第一歩になると思う。

オーブンプラットフォーム会議Vol.4 一言カード

No.	内容
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共空間はコミュニティにとって重要だが、基本的な図書館としての役割は確保してほしい。新しいことばかりでなく、基礎を固めてほしい。</li> <li>・建設予定地は高校生にも利用しやすいので、子どもや学生にも魅力ある使いやすい図書館にしてほしい。</li> <li>・子どもたちのため、子ども室（幼児室）の拡充を要望する。</li> <li>・すべての世代、別府市民にときめきのある施設にしてほしい。</li> </ul>
21	どこに作ろうとしていますか。
22	いまだかつてない図書館が欲しいのですが、温泉と畳の休憩室とビールが飲めるスペースもイベントスペースも併設した施設は作れないでしょうか。
23	実現のポイントに、医療や文化の生活環境の特性が入っていない。別府は人口割で全国2位の留学生、同じく全国2位の病床数があり、病院関係者の割合が多い。これらの特性を生かした参加の呼びかけ、意見を入れてはどうか。
24	別府市の本気度は？それが心配です。かなりの予算（財政基盤）準備できるのか。場所設定、建物、周囲の広がり、敷地などかなり必要だか・・・。
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや学生が常に利用できる計画</li> <li>・本を借りに来るだけでなく、長く過ごせるような図書館を望みます。</li> <li>・毎日入れ替わるおすすめコーナー設置</li> <li>・図書館を建築物としてみたいと思うような建物にしてほしい。</li> </ul>
26	書籍販売チェーン店やカフェチェーン店に委託することがよいという意見もあったように思うが、どうなったか
27	嶋田さんの取組は、これまである公民館や公民館主事、社会教育主事等の機能や役割と接近してきていると思った。今後、そのような施設、職種との連携や整理についてどうお考えになるか。
28	図書館は、まちや人にとって「あったら良いもの」なのか「必要なもの」なのか、その答えは町全体で共有認識していくことが根底にあって第一歩になると思います。
29	図書館は本屋ではない。新刊を並べるだけでは興味がわかない。分野別はもちろん、年代別分類をすると、その時代（年代）の考え方も若い世代は知ることができる。司書の働きが重要になる。 市民の中には古い本が不要になった方もいると思うので、寄附してもらい司書の選別で生き返らせることもあるのではないかと。
30	図書館は静かにが当たり前になっているが、話し声が聞こえる空間があってもよいと思う。
31	私がイメージする静かな図書館に「子どもが虫をもって遊びに来る」など想像できない。これから作る図書館はチャットルームや話しやすい場を創るといった取り組みができるが、既存の図書館もそういった姿になっていけるか。そのためにどうしたらよいか。
32	別府には、親が夜仕事をしている子どもが多い。不登校傾向の子どもも少なくない。20時くらいまで学習支援ができるような場になるとよい。

注：原文に則して転記しています。